



Obihiro Aoi Gakuen Information

学校法人 帯広葵学園

学園通信

◆2025年（令和7年）5月20日発行

◆Vol.90

十勝毎日新聞掲載

2025年5月13日（火）の紙面にて



故きを温ねて、新しきを知る
『帯広葵学園のあしあと90』

小学校で光る泥だんごづくり

―幕別・途別小学校の笑顔―

学校法人帯広葵学園 理事長 上野敏郎

帯広葵学園は、地域に必要とされる幼児教育機関です。今から8年前、2016年9月に帯広の森幼稚園で「光る泥だんごをつくる会」を開いたのが始まりです。きっかけは、帯広市の開拓姉妹都市である伊豆松崎町に伝わる「光る泥だんご」を知ったことです。それ以来、帯広葵学園では、全園の年長児が卒園記念としてつくることになりました。

その活動の一環として、この度幕別町の途別小学校で12人の児童と一緒に「光る泥だんご」をつくりました。途別は、帯広開拓の祖 依田勉三が生まれたまちです。

「光る泥団子」を作った
途別小の児童（後列左は
上野さん）

「光る泥団子」を手に
笑顔を見せていた。
球状に乾燥させた泥団子
にシツクイを塗り、ガラス
ビンや手で磨いて作る。シ
ツクイを使う作り方は、依
田勉三の故郷・静岡県松崎
町で誕生した。帯広葵学園
（帯広市、野敏理事長）は
帯広や幕別など、依田勉
三にゆかりのある地域で
「光る泥団子」の普及を進
めている。

途別地区は依田勉三ら晩
成社が稲作を行った場所。
同校は地域の歴史学習とし
て、校内の水田で稲作を行
っていることから、帯広葵
学園が特別授業を提案し
た。

材料は同校の水田の泥
を活用。昨年の冬に帯広葵
学園が泥を持ち帰り、特別
授業のために成形して乾燥
させた。児童らは、こぶし
大の泥団子を選び、シツク
イを塗ってガラスビンで磨
く作業を体験した。

好みに着色した泥団
子の表面に照明が反射し始
めると、児童たちは「光っ
てきた」と目を輝かせた。
4年の辻麻帆さん（10）
は「シツクイがけがないよ
う、丁寧に塗った。（思い
出の多い）学校の田んぼの
泥を家に持って帰れること
がうれしい」と話していた。

授業を見守った上野理事
長は、閉校しても依田勉三
の稲作なく、地域の歴史を
思い返してほしいと、児
童に呼び掛けた。

（吉原恵）



学校法人 帯広葵学園

〒080-0022

帯広市西12条南17丁目3 難波ビル2F

TEL 0155-23-7604 / FAX 0155-67-5778

URL <https://www.obihiraaoi.ed.jp/>



帯広の森幼稚園



012おびもり



つづきが丘幼稚園



012 青い鳥保育園



緑陽台認定こども園



柳町認定こども園



駒場認定こども園



あおいキッズランド



東士狩保育所



あおいとり